

旭川市立青雲小学校

指定年度：H30～
児童数：141名

1 包括的な学校改善に向けた取組の概要

① 教育理念や経営方針の浸透～教職員や保護者、地域住民との目標の共有化～

地域の特性や子どもの実態を踏まえ、地域とともにある学校づくりを一層効果的に推進するため、ランドデザインを策定し、参観日の学校説明会で説明したり、地域に配付したりするなどして公表した。

また、学校運営協議会や保護者会において、ランドデザインについて意見交換する機会を設定することにより、学校と保護者、地域住民との連携強化に努めた。

② 協働意識の高揚～校務分掌を工夫した組織体制の確立～

今年度の異動により、ミドルリーダーが転出するとともに、教職員数が減少したため、年度当初は、目指す子ども像の実現等、学校課題の解決に向けた取組を進める上で、組織体制に不十分な面が見られた。

そこで、組織としての機能を十分に発揮した取組を推進できるように、校長のリーダーシップの下、分掌間連携を効果的に行うための校務運営委員会において、これまで慣例的に行ってきた分掌業務を見直し、精選を図った。

また、同委員会において、児童の実態等から学校課題を出し合い、全校で達成を目指す目標「小さな約束」を作成するとともに、強調週間を設定して一斉に取り組んだ。



(全校で達成を目指す「小さな約束」)

③ コミュニケーション～日常対話や面談の工夫～

風通しのよい職員室づくりやスクールトークの促進を目指し、年間を通じて教職員向けの校長通信を発行するとともに、管理職と教職員の面談による目標や課題意識、悩みの共有及び協働による課題解決に努めた。

④ 人材育成～教員の経験年数等に応じた育成～

教員個々のキャリアステージに応じた資質・能力を効果的に高めるために、「青雲小教員育成プラン」を作成し、経験年数等に応じた計画的な人材育成に取り組んだ。

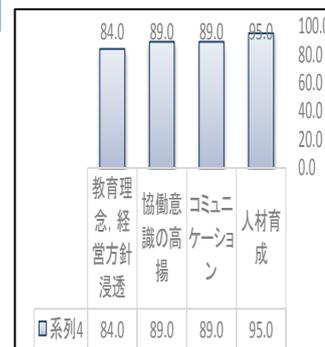
また、教職員個々が「青雲小研修の足跡手帳」を作成し、自ら設定した目標に向けて実践を積み重ねることにより「学び続ける教員」の実現を図った。

2 取組の成果と課題 (□：成果 ■：課題)

□全校体制による「課題解決強調週間」の取組が定着したことにより、教職員の協働意識が高まり、学級・学年間で統一した指導が行われた。

□面談の実施や「青雲小教員育成プラン」の作成により、人材育成について計画的に取組を進められたことに加え、特にベテラン層の人材育成に係る職能開発が進んだ。

■校務運営委員会の実施により、様々な調整や課題解決につなげることができたが、今後は、分掌間の有機的な連携に向けた更なる工夫や、分散型リーダーシップ体制の一層の強化が必要である。



(学校評価の肯定的回答)